

平成27年度 前田一步園「教育の森」・アウトドア環境教育教員研修実践編
阿寒の森を使った子どもの主体的な学びのための教え方・学び方ワークショップ

報告書



日程：2015年8月3日（月曜日）9：30-16：30

2015年8月4日（火曜日）9：30-16：30

講師：吉田新一郎（プロジェクト・ワークショップ事務局）

山本 幹彦（NPO法人 当別エコロジカルコミュニティー代表）

主催：一般財団法人 前田一步園財団

企画・運営：NPO法人 当別エコロジカルコミュニティー

1 概 要

【事業名】平成27年度 前田一步園「教育の森」・アウトドア環境教育教員研修実践編
阿寒の森を使った子どもの主体的な学びのための教え方・学び方ワークショップ

- 【目 標】
- 1) 学びのサイクルを理解し授業に活かせるようにする
 - 2) 子どもたちの主体性を引き出すファシリテーション能力を身につける
 - 3) 学習指導要領に基づいたカリキュラムが作成できる能力を身につける
 - 4) 子どもを主体にした新しい教育を阿寒湖から発信する
 - 5) 教室の中だけじゃないアウトドアを活用した授業ができるようになる
 - 6) 前田一步園の森を地域の教育に活かす

【概 要】教育の森事業は大きく3つのポイントがあります。1) 学校と地域の連携事業として前田一步園の森を教育に活かす、2) 教え込む教育から子どもたちの主体性を尊重した学びの教育への提案、3) スウェーデンのアウトドア環境教育をモデルとして活用する。昨年までの研修では、すでに野外を使って子どもたちの主体性を尊重したスウェーデンのアウトドア環境教育を紹介する研修を実施し、その可能性を共有してきました。今年からの研修では実践編として、日本で普通に行われている教え込む教育を子どもたちの主体的な学びを尊重した教育へ向けた研修を行ってゆきます。

教育の森事業はいうまでもなく前田一步園財団30周年事業「森の学校」プロジェクトの柱となる事業です。その第一にあげられているのは「アウトドア環境教育の指導者養成」です。言葉を換えると、スウェーデンで行われているアウトドア環境教育をモデルとして、1) 学校での授業という学びの環境として教室と野外を有効に使う(Learning Through Landscapes)、2) 教え込む教育から、子どもたちの主体性を尊重した学びをサポートできる指導者養成。ということでもあります。さらに、この実践を阿寒湖にある幼稚園、小学校、中学校で地域連携として実践を行いながら、子どもたちの主体性や創造性を育てる教育を阿寒湖から全国に発信していく大きな目標を掲げています。

そのため、指導者養成実践編の目標を以上の5つに絞り、この5つのスキルを身につけることを目標にして研修を行ってゆきます。しかし、一気にこの5つのスキルを身につけるのは難しく、また、幼・小・中の先生たちの主体的な取り組みが重要です。そこで、夏休みの研修では以下の5つの目標を設定し、継続した研修と実践を繰り返しながらゴールを目指すこととしました。

- 1) 野外で授業のアクティビティを通じた教え方、学び方を学ぶ。
- 2) 体験を体験で終わらない、体験学習のサイクルを通じた教え方学び方を学ぶ。
- 3) 子どもたちの主体性に基づいた教え方、学び方を考える。
- 4) 自分の授業スタイルを見直し、授業で取り入れていく意欲を持つ
- 5) この研修をきっかけに学び合うチームを作る。

参加対象ですが、この指導者養成事業のゴールが阿寒湖からの新しい教育の発信としているので、できれば、初めから全員で取り組んだ方が効果的だと思います。しかし、本事業への理解や取り組みに対する意欲には差があると思います。そこで、地域との連携事業として取り組むクラスとそうじゃないクラスができるのではなく、学校と地域との連携を図りながら、協力しながら目標に向かって取り組んで行きた

いと思います。その上で、可能なら積極的な他の学校の先生にも参加してもらえればと思います。そこで、本事業を1日目と2日目に別け、1日目を主体的な教え方へのモチベーションが高い先生、2日目を関心の低い方を対象として実施した。

【日 程】 1日目：2015年8月3日（月曜日）9：30-16：30

2日目：2015年8月4日（火曜日）9：30-16：30

【場 所】 阿寒湖まりむ館・前田一步園財団の森

【参加者】 1日目：23名 幼稚園：7名、小学校：6名、中学校：2名、一般：8名

2日目：27名 幼稚園：7名、小学校：8名、中学校：2名、一般：10名

【講 師】 吉田新一郎（プロジェクト・ワークショップ事務局）

山本 幹彦（NPO法人 当別エコロジカルコミュニティー）

【主 催】 一般財団法人 前田一步園財団

【企画・運営】 NPO法人 当別エコロジカルコミュニティー

2-1 1日目

【概要】 阿寒の森を使った子どもの主体的な学びのための教え方・学び方に積極的に参加しようという方を対象にという設定に、子どもたちが主体的に学び、知識やスキルを身につけられる学び方・教え方を身につける、体験学習を授業に活かしていく手法を具体的に学びます。

【内容】 ・教えるときに大切にしていること／大切にしたいことは？
・自分がよく学べる時はどんなとき→学びの原則
・アクティビティを使った体験学習の教え方、学び方
・2つの教え方・学び方のアプローチ
・継続研修のお約束とそのやり方

【目標】 1) 子どもたちの主体性に基づいた教え方、学び方を考える。
2) 自分の授業スタイルを見直し、授業で取り入れていく意欲を持つ
3) この研修をきっかけに学び合うチームを作る。

【場所】 阿寒湖まりむ館・前田一步園財団の森

2-1-1 報告

9:00 **【集合・受付】**

9:30 **【開校式】**
理事長挨拶



【講師自己紹介・オリエンテーション】
全体のオリエンテーションと興志紹介。



【お互いを知ろう・参加者自己紹介】

各自にA4用紙を配布し、その用紙を4等分して自己紹介シートを作り、2人組みを作って自己紹介。



【リーディングワークショップ体験】

主体的な授業実践で日本で成功しているリーディングワークショップを体験。この学びの手法を野外に活かせばと紹介した。



【大切な友達体験】

活動後のふりかえりから学びにつなげる手法の一つの「大切なともだち」を体験。



12:00 【昼食】

昼食後に集まってきた方々に持参した絵本と教育書をテーブルの上に並べてもらった。



13:00 【大切な友達体験の続き】

6種類の絵本を用意し、一人ひとりが興味関心のある絵本を選び、その本を読んだ感想を大切な友達の手法で行った。(この絵本が自然の中での体験に置き換え、自然体験後の学びにつなげる方法を体験したことになる。)



14:30 【小講義】

資料集を使つての講義

15:30 【参加者からの質問】

短い時間になりましたが、参加者から感想を聞いて、研修の気づきを共有した。

16:30 【終了】

2-2 2日目

【概要】「明日から使える活動紹介」をテーマに、昨年までご紹介した内容をさらに森や野外を使ったアクティビティを紹介し、その使い方や体験学習法の考え方と具体的な手法をご紹介します。

【内容】・アクティビティを使った体験学習の教え方、学び方
・森をフィールドにしたアクティビティのご紹介（明日から使える！）

【目標】 1) 子どもたちの主体性に基づいた教え方、学び方を考える。
4) 自分の授業スタイルを見直し、授業で取り入れていく意欲を持つ
5) この研修をきっかけに学び合うチームを作る。

【場所】 阿寒湖まりむ館・前田一步園財団の森

2-2-1 報告

9:00 **【集合・受付】**

9:30 **【オリエンテーション】**
今日1日のスケジュールと目標を説明



【野外でのアクティビティ体験】

早速野外に出かけてアクティビティを体験しながら授業に活かしていく視点を話し合った



1) オーディアー



アクティビティの体験のあと、体験の活
か
方、授業への応用について話しをした。



2) 土のレシピ



アクティビティの体験のあと、体験の活
か
方、授業への応用について話しをした。



3) 木の詩



アクティビティの体験のあと、体験の活
か
方、授業への応用について話しをした。



12:00 【昼食】

13:00 【授業案作り】

海外で開発された森をフィールドとした体験学習教材を一人一つ取りあげ、教科を自分で設定し、自分なりの授業案を作った。



14:30 【グループで発表】

1日目の大切な友達の手法を使って、それぞれの発表についてフィードバックを行った。

16:00 【ふりかえり】

今日1日の学びをグループでふりかえった。

16:30 【終了】

3 所感

2年目の研修は阿寒湖にある幼・小・中が連携して、主体的な教育を目指して一緒に授業を作っていくことをゴールとし、タイトルを「実践編」として企画をスタートさせた。そのために、3月から検討会と事務局へはこの研修の目的と概要をお伝えしながら、向かう方向の合意を取りながら進めてきたつもりです。また、そのために事務局が1つのチームとしてこの方向に向かうことが大切だと感じていたので、3月の検討会に引き続き、4月に事務局へ説明に足を運んで主体となるチームの関係性を作ることから始めた。同時に、研修は一方的に進める（教え込む）のではなく、一緒に作って行くことを前提に、昨年の事業計画にも明記したように、地域や学校との関係性がポイントだと思っていたので、事務局での実施計画の摺り合わせを早い段階で行い、学校への研修計画を提示し、私自身が直接説明を行いながら今年の研修を進めていく予定で5月には実施計画と募集要項を事務局に提示した。また、企画を作っていく中で、今回の研修内容を求めている先生がそれ程多くないことが見えてきたので、2日間の研修を1日目を主体的な授業を求める先生方を、2日目を主体的な授業に関心のない先生方を対象とした内容とし、1日目の一昨年から取り組んでいる主体的な研修には全国に呼びかけて先進的な取り組みに取りかかるつもりでいた。

しかし、結果は惨憺たるものだった。研修内容を知らされずに参加された中学校の先生は、前田一步園の研修だから森に連れて行ってくれるだろうとその準備を整えて参加していた。聞くと、研修の案内は時間と場所と持ち物だけの案内をもらい、学校から行ってきなさいといわれただけという。（私も案内は研修当日に中学校の先生から初めて見せてもらい驚いた。）そして、募集要項も見ただけという。内容を知らされず、そのギャップに財団に対する反感や怒りが言葉や行動（アンケートにも）現れていた。考えてみると、「良くもまあ最後まで教室におられたなあ。」と思わずにはおられない気持ちになってきた。事務局に聞くと募集要項は各1部ずつ学校に渡したという。そこを心配して早い段階に学校へ私から説明や打合せの連絡をしたいと事務局に再三連絡をしていたが、「事務局からの連絡が終わってからにして欲しい。勝手に連絡しないように。」と言われ続け、結局、連絡があったのが7月の半ばの夏休みの始まる前で、私も6月半ばからは身動き取れない繁忙期になるので3月から動いていたのに残念でならなかった。

結局、その準備不足と事務局との連携の不備が研修に全面に出た形で、研修内容を評価する以前の問題から、研修の目的や内容を理解しない、財団から言われた研修だから参加したという先生たちばかりの、いわゆるアウェーで試合をしているような感じで、研修の講師役としてお願いした吉田さんにはさぞかし酷い研修だと思われたに違いない。

内容についてはアンケートを書いてもらっているが、その内容も当日の研修が終わってから事務局から配られ、私はそれまで一切目にしていなかった。

アウトドア環境教育や主体的な学びについて、事務局として検討会で話された内容を十分理解し、検討会と事務局が一体となって取り組む体制が研修の実施を語る前に必要かと思われる。また、学校との研修は内容云々の前に、学校との関係性を作ってからの方が良いように思われる。

その中でも、長野県から来られた小学校の先生は2日目に参加されたのですが、1日

目の吉田さんの研修資料に目を通すと、「今一番必要な内容がぎっしりつまっている。」と1日目に参加できずに残念がっておられた。それもそのはず、その先生は生活科の授業をすべて野外に出かけ、教える教育ではなく、子どもの興味や関心に添った主体的な学びの授業を実践されていて、その先生が一番必要とする研修だという。今、その先生から実践事例をメールでいただいていますので、関心のある方はご連絡ください。富山和子さん著の「ひみつの山の子どもたち」で書かれている授業を今もされているので、決して今でも野外を使った子ども主体の授業がアクティビティをしなくても（その先生曰く、アクティビティをわざとやるのは違和感がある。）と、まさにその通りのことをおっしゃっていて、今回の2日目の明日から使えるアクティビティを紹介し、アンケートにも「もっと使えるアクティビティを紹介して欲しい。」という先生がたくさんおられたが、その主体的な授業をされている先生には違和感を感じるほどにわざとらしい、子どもが主体的になっているように先生が感じる授業だということができるのではと思います。ここに、主体的な授業のポイントがあると私は思っています。

4 アンケート

4-1 1日目

4-1-1 幼稚園

1 本日の研修内容について

(1) 今回の研修の、「子どもたちの主体性に基づいた教え方、学び方」について

- ①大いに参考となった 1
- ②やや参考となった 4
- ③あまり参考にならなかった 2

(主体性の部分について、子どもたちへのアプローチが見えてこない。)

(2) 今回の研修を通じて、「ご自身の授業スタイル」について

- ①多くの改善点が見つかった 1
- ②いくつかの改善点が見つかった 5

(3) 研修を通じて見つけた改善点について

- ①改善点を具体的に授業に取り入れるイメージがあり、授業に取り入れたい 2
- ③改善点は明確になったが、具体的に授業に取り入れるイメージがまだ出来ない 2
- ④改善する必要性は理解できたが、改善点がまだ明確でない 3

2 次年度に向けたご意見等について

(1) 来年度の前田一步園財団森の学校教育の森事業研修会について

- ①ぜひ参加したい 2
- ②スケジュールが合えば参加を検討する 4

(2) 来年度の研修会事業につきまして内容の希望がありますか

- ・自然物を使った実践ワークショップ
- ・研修内容について検討が必要。何をこともたちと作り上げていくか、方法について)

3 その他

(1) 今回の研修は、2日間のスケジュールで実施します。明日の参加予定について。

- ①参加予定 7

(2) 研修日程について

- ①2日間のスケジュールは長い 2
- ②2日間のスケジュールは適当 4

(3) その他

- ・楽しかったです。
- ・私にとってはとても難しい内容ではありましたが、リーディングワークショップという初めての言葉を聞き、このような教え方、学び方を知ることが出来ました。未だ言葉を知り、少し学んだだけなので、これから機会を見つけて、詳しく学び、保育に生かせるように勉強してみたいと思います。
- ・学びの原則は日々の保育において常に心がけていることです。子どもたちは登園してくるとやりたい遊びを選択したり、友達や教師と共に創意工夫しながらたつぷりと遊びこみま

す。野菜を育てたり、小動物の世話や観察等も毎日進んで行っています。（生態、食育）1日の生活で常に学んでいます。子ども一人ひとりのがんばりを見つけ、皆に知らせ、互いに讃え合うふりかえりも出来ています。さまざまな経験や体験の量が主体性のある子どもを育むのではないのでしょうか。

- ・内容を（興志を含め）確かなもの死して欲しい。事前に研修会議（打合せ）で検討してから、研修に入るなど、事前準備（理解）が足りないのではと感じました。疑問、最初はアイスブレイクなのではないでしょうか？

4-1-2 小学校

1 本日の研修内容について

(1) 今回の研修の、「子どもたちの主体性に基づいた教え方、学び方」について

①大いに参考となった 1

②やや参考となった 3

(2) 今回の研修を通じて、「ご自身の授業スタイル」について

②いくつかの改善点が見つかった 4

(3) 研修を通じて見つけた改善点について

①改善点を具体的に授業に取り入れるイメージがあり、授業に取り入れたい 1

②改善点を具体的に授業に取り入れるイメージがあるが、授業に取り入れるには課題がある 1

③改善点は明確になったが、具体的に授業に取り入れるイメージがまだ出来ない 1

④改善する必要性は理解できたが、改善点がまだ明確でない 1

（ブッククラブは取り入れたいと思った。）

2 次年度に向けたご意見等について

(1) 来年度の前田一步園財団森の学校教育の森事業研修会について

①ぜひ参加したい 1

② スケジュールが合えば参加を検討する 2

③学校からの参加指示があれば参加する 1

（森などの自然の体験をしたい）

(2) 来年度の研修会事業につきまして内容の希望がありますか

3 その他

(1) 今回の研修は、2日間のスケジュールで実施します。明日の参加予定について。

①参加予定 4

(2) 研修日程について

②2日間のスケジュールは適当 4

(3) その他

- ・リーディングワークショップでそれぞれのグループで発表し合ったが、それについて他のグループが意見等を出した方が良かったと思った。

- ・主体的に学ぶ姿勢を目指すのはとっても大切なことであり、取り入れていきたいです。

- ・国語や算数など教科の学習を「阿寒地域の素材を活かし、子どもが主体的に学べるようにする。」ことは素晴らしい理想だと思いますし、ゴールだと思います。しかし、そのスタートの1歩目からこれらのことをすると、「教育課程はどうするのか?」「評価はどのようにするのか?」など、課題が山積のため、混乱が生じるのではないのでしょうか? したがって、はじめの1歩として、例えば「阿寒の自然素材を活かした主体的な活動を通じた総合的な学習の時間」や「阿寒の自然を通して学ぶ道徳の学習」など、教育課程や評価に自由度があるものからはじめるのはいかがでしょうか? 私自身もそのような研修を行いたいです。

4-1-3 中学校

1 本日の研修内容について

(1) 今回の研修の、「子どもたちの主体性に基づいた教え方、学び方」について

② やや参考となった 2

③ あまり参考にならなかった 1

(なかなか難しい内容でも、もっとわかりやすく、一貫性のある内容を期待していました。)

(本校の研修テーマとうやや共通した点もあり、参考になったが、具体的な方策として同意かすかまで、自分の中で消化しきれませんでした。)

(2) 今回の研修を通じて、「ご自身の授業スタイル」について

② いくつかの改善点が見つかった 2

③ あまり改善する点は見つからなかった 1

(どうしても説明が細かく、重なることが多いので、改めてその点の改善で心がけようと思いました。)

(3) 研修を通じて見つけた改善点について

② 改善点を具体的に授業に取り入れるイメージがあるが、授業に取り入れるには課題がある 1

③ 改善点は明確になったが、具体的に授業に取り入れるイメージがまだ出来ない 1

④ 改善する必要性は理解できたが、改善点がまだ明確でない 1

(全体の年間を通しての取り組み、教科担任制の中での位置づけなど、克服しなければならないことが多いと感じた)

2 次年度に向けたご意見等について

(1) 来年度の前田一步園財団森の学校教育の森事業研修会について

② スケジュールが合えば参加を検討する 1

③ 学校からの参加指示があれば参加する 1

④ 参加は希望しない 1

(せっかくの森をフルに活用できるものがあるとうれしいです、この前田一步園でしかできない独自のものを示唆していただければレポート受け取りました。琉と幸いです。)

(2) 来年度の研修会事業につきまして内容の希望がありますか

3 その他

(1) 今回の研修は、2日間のスケジュールで実施します。明日の参加予定について。

①参加予定 3

(2) 研修日程について

①2日間のスケジュールは長い 3

(3) その他

・1日日程が妥当ではないかと思います。午前中、野外実習、午後アクティビティを使った演習でちょうど良い。時間の余った感が否めない。1日目の研修は若干見切りさっしゅかんが強い。話し合い活動は大事、だが、目的、ゴールが見えないからやらされてる感が強く、身につかない。

・明日から使えるものとして、年間を見通しての位置づけや、年間時数でどうバランスをとっていいのかを教唆していただければと思います。月々の教科書の進度の調査、チャレンジテスト、等への取り組み、地域行事での授業カットなど時数に余裕がない中、どのように効率的にこの恵まれた環境をフルに生かせるのかのご教示を願いたい。

4-1-4 その他

1 本日の研修内容について

(1) 今回の研修の、「子どもたちの主体性に基づいた教え方、学び方」について

①大いに参考となった 1

(これは大人にも参考になる)

(2) 今回の研修を通じて、「ご自身の授業スタイル」について

②いくつかの改善点が見つかった 1

(自分が担当している授業の課題が客観的に見えた)

(3) 研修を通じて見つけた改善点について

②改善点を具体的に授業に取り入れるイメージがあるが、授業に取り入れるには課題がある 1

(話し合いの時間をもっと取ることを)

2 次年度に向けたご意見等について

(1) 来年度の前田一步園財団森の学校教育の森事業研修会について

①ぜひ参加したい 1

(2) 来年度の研修会事業につきまして内容の希望がありますか

・先生だけでないものにして欲しい

3 その他

(1) 今回の研修は、2日間のスケジュールで実施します。明日の参加予定について。

②参加できない 1

(2) 研修日程について

②2日間のスケジュールは適当 1

(3) その他

- ・ 1日日程が妥当ではないかと思います。午前中、野外実習、午後アクティビティを使った演習でちょうど良い。時間の余った感が否めない。1日目の研修は若干見切りさっしゅかんが強い。話し合い活動は大事、だが、目的、ゴールが見えないからやらされてる感が強く、身につかない。
- ・ 明日から使えるものとして、年間を見通しての位置づけや、年間時数でどうバランスをとっていけるのかを教唆していただければと思います。月々の教科書の進度の調査、チャレンジテスト、等への取り組み、地域行事での授業カットなど時数に余裕がない中、どのように効率的にこの恵まれた環境をフルに生かせるのかのご教示を願いたい。

4-2 2日目

4-2-1 幼稚園

1 本日の研修内容について

(1) 今回の研修の、「野外を活用したアクティビティ」について

①大いに参考となった 4

②やや参考となった 1

(室内で出来るアクティビティも紹介して欲しい)

(2) 今回の研修の、「野外を活用したアクティビティ」について

②アクティビティを具体的に授業に取り入れるイメージがあるが、授業に取り入れるには課題がある
4

④アクティビティを具体的に授業に取り入れる必要性を感じなかった 1

(3) 研修を通じた、「体験学習を単なる定見で終わらせない体験学習の学びのサイクルを通じた教え方、学び方」について

②理解できたが、授業に取り入れるには課題がある 3

③あまり理解できなかったが、必要性は感じた 2

2 次年度に向けたご意見等について

(1) 来年度の前田一步園財団森の学校教育の森事業研修会について

①ぜひ参加したい 2

②スケジュールが合えば参加を検討する 3

(2) 来年度の研修会事業につきまして内容の希望がありますか

・阿寒湖の今後の方向性、どんな子に育て立てていきたいか聞きたい。野外を活用したアクティビティを増やして欲しい。

・野外を活用したアクティビティを来年もお願いします。

・野外をもっと取り入れて欲しい。

・アクティビティをもっと充実して欲しいです（実感できるもの）。年齢別（幼・小・中）と別けて。

3 その他

(1) 今昨日の参加は

①参加した 5

(2) 研修日程について

①2日間のスケジュールは長い 2

②2日間のスケジュールは適当 3

(3) その他

4-2-2 小学校

1 本日の研修内容について

(1) 今回の研修の、「野外を活用したアクティビティ」について

② やや参考となった 5

(室内で出来るアクティビティも紹介して欲しい)

(2) 今回の研修の、「野外を活用したアクティビティ」について

① アクティビティを具体的に授業に取り入れるイメージがあり、授業に取り入れたい 2

② アクティビティを具体的に授業に取り入れるイメージがあるが、授業に取り入れるには課題がある
1

③ アクティビティを具体的に授業に取り入れるイメージがまだできてない 1

(子どもたちの発していることにすりあわせてアクティビティを返信させながら活用したり、発展的に伝えたり出来たら良いなあと思います。そういう使い方をしていくことで使えそうだなあと思います。)

(3) 研修を通じた、「体験学習を単なる定見で終わらせない体験学習の学びのサイクルを通じた教え方、学び方」について

① 理解できた、体験学習の際本研修で得たことを授業で取り入れたい 1

② 理解できたが、授業に取り入れるには課題がある 3

2 次年度に向けたご意見等について

(1) 来年度の前田一步園財団森の学校教育の森事業研修会について

① ぜひ参加したい 1

② スケジュールが合えば参加を検討する 3

(8月に入ると時期的にキツイので7月中がよいと思います。)

(2) 来年度の研修会事業につきまして内容の希望がありますか

・他の学校の実践記録を聴きたいです。

3 その他

(1) 今昨日の参加は

① 参加した 3

② 参加していない 1

(2) 研修日程について

① 2日間のスケジュールは長い 2

② 2日間のスケジュールは適当 2

(3) その他

・今日、幼稚園の先生方の実践や子どもたちに体験させたいことへの考えなどを聞いて、とても感動し、小学校でも幼稚園の取り組みをさらに高めることをしなければとも思いました。幼・小・中共に、阿寒湖の自然を生かした子どもたちの主体的な学びの実践が行われていると思います、それらの実践報告をして講師の方に専門家として「より、学びが深まるアクティビティ」や「子どもの主体性が強まる手立て」などの助言をいただく、という形であれば、より研修が深まるのかなあと思いました。また、その研修によって「幼・小・中をと通

した、阿寒湖の自然を活用した子どもたちの学び」の実現に近づくのかなあと思いました。

9 ふりかえり

良かった点は○、悪かった点は×、疑問・質問は？で、下に書き出してください。

- 立場、枚種がちがう先生方と話成できたこと聞いたこと。
色んな角度から大事なこともこれからの可能性を話し合えたこと。
 - 自分にとっての自然（身をおいているところ）でどういうものなのかなと^{はっ}わかってきていること。
 - 自然体験の継続的に外にでることの意味、で何なのか考えられたこと。
 - 腰をおろしてゆくりシラカバを見れたこと。自分のペースでじっくりとそのものがわかることを子どもたちもできるようにしていきたいなと思っています。
- 大切な気づき
×手を挙げてくれなかったこと…。勇気、なかくすません。
- ×1日目に参加できなかったこと（資料をみてすごく興味を沸かされた）。

感想です。

- ？継続的にかかわり続けることとプロジェクト的に取り組むこと。
- 何もないこともプロジェクトでも子どもが自然の中で身をおく体験の
おかげでその子にとっては幸せなはずなと思っています。
- こんなに身近に豊かな自然があるのだから日常的になっていくと…かなと
思っています。

質問への回答が欲しい方は、

お名前 _____ メール・アドレス: _____

9 ふりかえり

良かった点は○、悪かった点は×、疑問・質問は？で、下に書き出してください。

- 今回の教員の方々を対象にしたアウトドア環境教育の研修には、残念ながら1日目は参加することができませんでした。だから結果的に、横から見ていただけになりました。
それでも、参加している方々の表情から、2日目の午前中の野外での活動と研修が、いかに楽しそうにしているように感じられました。
教員の仕事の意識にうつつを、"うん、これは持って帰って使えるぞ"というふうな×20をひとつでも参加した方が発見できたのではいいかな？と感しています。
決して×の目的ではないけれど、副産物として、
- × 一緒に考えたり、作業したりする間に、あたたかい、仲良しになる、という成果が得られそうですね。ぜひ、子どもも遂に直接参加してもらって、楽しい表情になってゆく様子や仲良しになつてゆく様子を見たいな、と思いました。
それもうひとつ、阿寒の地に、幼稚園と小学校と中学校とか、連続した地域小生の豊かな活動ができるような予感がしました。

(書いておきます)

質問への回答が欲しい方は、(いえ、特に回答が欲しいわけではありません)

お名前 高橋 忠二 メール・アドレス: _____

4-2-3 中学校

1 本日の研修内容について

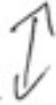
(1) 今回の研修の、「野外を活用したアクティビティ」について

② やや参考となった 2

9 ふりかえり

良かった点は○、悪かった点は×、疑問・質問は？で、下に書き出してください。

○ 前田一步園のご協力で、毎年阿寒湖小もいろいろな野外体験環境教育をさせてもらっています。それでも、直接的な自然とのかわりではない。もとと教科でも使えるという話を、いつも難しいなあと思いつらきっていました。2日目の午後に、実際にその活動案を考えて、交流してみよう。いろいろな可能性があるなと感じました。



× 反面、それを年間の指導計画に全校で作上げていくのは、またもう一步学力がいることと、それを課題に思っていることです。

？ 阿寒湖の姓方はもとより、釧路管内まで広がって、この教育に興味のある先生方に声をかけ講座をひらいていいかなと思いました。

質問への回答が欲しい方は、

お名前 _____ メール・アドレス: _____

③あまり参考にならなかった 1

(屋外でしかできないものをもう少し紹介して欲しかった)

(明日、則実践できるアクティビティがなかった)

(2) 今回の研修の、「野外を活用したアクティビティ」について

③アクティビティを具体的に授業に取り入れるイメージがまだできてない 3

(中学校でどう外で活用していくかイメージがわからない。)

(提示されたアクティビティが教育内容の充実につながる姿がイメージ出来ない)

(3) 研修を通じた、「体験学習を単なる定見で終わらせない体験学習の学びのサイクルを通じた教え方、学び方」について

②理解できたが、授業に取り入れるには課題がある 1

③あまり理解できなかったが、必要性は感じた 2

2 次年度に向けたご意見等について

(1) 来年度の前田一步園財団森の学校教育の森事業研修会について

②スケジュールが合えば参加を検討する 1

③学校からの参加指示があれば参加する 1

④参加は希望しない 1

(内容が中学校の学習指導に即したものであれば参加を希望します)

(2) 来年度の研修会事業につきまして内容の希望がありますか

・前田一步園の森ならではのオリジナルあふれる活動

3 その他

(1) 今昨日の参加は

①参加した 3

(2) 研修日程について

①2日間のスケジュールは長い 3

(3) その他

・朝早くからありがとうございました。さまざまな制約がありますが、今日の研修の成果を活かしていきたいと思います。

・阿寒湖という地域素材を活かした研修をお願いします

5 資料（参加者ふりかえりシート）

9 ふりかえり

良かった点は○、悪かった点は×、疑問・質問は？で、下に書き出してください。

- 木の活動、人のかわり、自然のかわり、自然の中遊ぶ
楽しさを学ぶ面白かった。
- 大々たる建、自分の考えを人に話す、発見、感想を聞く。
それは最後にライスターで、勉強になりました。
- × リーディングワークショップ(一日版)の 事前授業をメモして
話し合うことは意味がなかった。
やはり二日目のために自分で書く(そのメモ)は話し合えば
深められなかった。感じた。
- ？ リーディングワークショップを(わり)理解できなかった。反省
初めの言葉(内容を)深める術(話し) 学ぶ方を考え直さないと
よいのだろうか。… 1 目的設定などの工夫も必要??

質問への回答が欲しい方は、

お名前 _____ メール・アドレス: _____

9 ふりかえり

良かった点は○、悪かった点は×、疑問・質問は？で、下に書き出してください。

- 自分の考えたことを相手に伝える時に、様々な工夫が必要だと、発表の際、感じました。
- 野外教育と日常の指導を関連づけて考えられたのは、よい機会~~場~~でした。
- 普段は、関わることができずい人とコミュニケーションがとれたのは、とてもよかったです。
- × 少し、授業のテンポがおそいと感じることもあった。
- × 話し合う際、の基準が不明りょうな時があった。
→ 何を目的に話し合う、or 活動するのかが大切であると感じた。
- ① ~~参加者が絵本を持ってきたので、
にしても
発表の場があれ~~

質問への回答が欲しい方は、

お名前 _____ メール・アドレス: _____

9 ふりかえり

良かった点は○、悪かった点は×、疑問・質問は？で、下に書き出してください。

○ リーディング、7-7シフト

司書及論の講座、学校図書館の講座で学んだことの
再確認ができた。

また、講師の「くせ」は「教員としてのきあがり」として
おぼえていた。

× 野外でのアクティビティ

アクティビティは屋外でなくていいのであれば、おとどきの体育スペース
でもできるのでは？屋外に出たなら屋外でしかできないこと
をぜひ紹介してほしい。

？ 環境教育の目的や意義の理解でまずいこと。

環境教育の実践としてアメリカの例を取り上げると、アメリカの
に数年の動きを見れば、経済復興の姿勢が強く
出てくる感じがします。環境への配慮が少なからずある。

これは、やはり「環境教育」を行うにはそのアメリカの
形に合わせた教育を行うより、人の内面（内心）から環境に配慮する
環境に育つことの方がいいのではないかと思うことです。

質問への回答が欲しい方は、

お名前 中野 由 メール・アドレス: _____

♪ 能く独自の活動に取り組んで
ください。